世事見聞錄 二

内閣文庫
和書
類 八三〇四
號
冊 八
函 二一三
架 二

太政官文庫
和書門
類 八三〇四
號
函 二一一
架 六
冊 八

内閣文庫
番號 和 8304
冊數 8 (2)
函號 213 14

隨筆

国立公文書館
National Archives of Japan

世事見聞録こく二

一 百姓のこと

宮内省圖書寮
小澤文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

明治十三年購求

五九七一番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]或ハ[illegible]して大道なり拙僧答ていはく
人の常道なり拙僧問ていはく[illegible]
ひ或ハ師匠を撰ぶこと[illegible]
の書道を学ぶ人ハ常明師匠ハ[illegible]
拙僧を撰ぶ事ハ拙僧に学ひ[illegible]
[illegible]の地にて[illegible]連来して妻とする[illegible]
人ハ[illegible]の地に拙僧ハ[illegible]
ら都合の地に問ひ[illegible]
[illegible]或ハ[illegible]
[illegible]押を[illegible]

[illegible]人の方より[illegible]
[illegible]人ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]大和ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

連綿出勇[illegible]の石巻[illegible]

人の勿論大人[illegible]

皆文[illegible]の遊[illegible]志[illegible]月[illegible]と稼業の[illegible]

[illegible]化[illegible]の[illegible]様[illegible]

[illegible]田舎[illegible]

[illegible]右[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奪の恥心無きを以て淫乱放蕩と成り遂に国を傾
弱きものといふべし人の妻たる人の
ものとしるべし其の例を挙げて
報ゆべきなり其の大切なる事なり
〈淫婦〉とは一夫に二心を抱き
夫の留守を幸ひ他人と密通
夫の留守にして他人と密通
居りながら主人を欺き
夫を奪ひ他人に内通
或い夫人に内通
或い夫人に密通

或い夫人に密通
或い夫人に密通
て主人を欺き
しかも主人を或い主人に
ものと成り
人を主人にして
不埒或い淫婦の
急て分れ
しかる程に
仮令夫人
夫人に密通
或い妻子に密通
て主人を欺き
しかも主人を或い主人に
ものと成り
人を主人にして
不埒或い淫婦の
急て分れ
しかる程に
仮令夫人

[illegible]業[illegible]の[illegible]或い[illegible]と
[illegible]居[illegible]て[illegible]の[illegible]世[illegible]法[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]書[illegible]
[illegible]流[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

世の邪このくさぐさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人々の風俗に改めて世の居酒屋陽成殿法なと業
てそれの業激をそれ〳〵人森の業激に在てそれ〳〵
森の業激にて西業を乃の〳〵のものこつの如業の民
の表に〳〵廢り行〳〵老要の如き風俗の系まれ
法をへも五つ〳〵に業四法を所〳〵百姓とも
業りそれ〳〵きる法俗の和を業湖の系の女
相変三業を系然法有々のよう他の業
遠前と為ば乃系しの四系を業て和遠乃系と
きて世の一流の〳〵四法を乃文に行るきこと〳〵湖前
ちりそれ〳〵海遠の百姓の業法法る所の業とそれ〳〵業

業教法の業所おそれ〳〵他所が入地業業の法を所
それ〳〵法を〳〵法職〳〵の法〳〵を利法し所が出る法
らを皆を村四の法力をそれ乃百姓の方が出る
は仲法を乃系業法を者業業法を或を法を〳〵法職〳〵業
系他の法法を業ひ系て風を業り法乃系
百姓を法の法りそれ系の業を種ひ業遠を業の業
種業を乃の系を業を業を〳〵を法〳〵業法〳〵湖
は乃系百姓を乃を業を業を法を乃の相業を初
法教法を業を〳〵を法の法を乃系の業を法
業法の〳〵業偏〳〵彩貫法が系を法を法業

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人数を以て耕作をなさしめたるのごとく村内のその他の
物産を取扱うものの如き人数を以て幸福をもたらすべき
倉稲を取扱うものの如き人数を以て百姓人口の
人数の増加と倉稲の増減とを比較して
倉稲の増減のない人口の増減業をいうべきにて決して
倉稲と比較して倉稲と異なるものなれば仕方
をいうべきもの也人口の増減の如きは二年の
人口の増減は百姓の多寡編戸風俗の淳薄
係て変ずる三年の増減は新墾田と異なる
うべきもの也墾田百姓の倉稲と異なる
ものなれば平常の年を以て比較する時

は一ヶ年の倉稲を保存し他雑穀の如き物産
物と異なるものなれば少し墾田百姓の増減の
多寡に関係し凶荒人物を以て穀法を出
来たる時は一ヶ年雷鳴して降雨なきもの農業の労を積
んで衝くに異常を生じ百人の利益を
失ふも千百の雷雨降る時は異常を生ずるの
也人一ヶの増減人物を以て増減なるべき百姓の如き
家人従僕を以て墾田を三年間
そうさの為ものとして陸と二四海なるものの如きは
と言へども往ひかへ或は従僕なるものの如き

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]村役人[illegible]作[illegible]和田と[illegible]て[illegible]百姓元
[illegible]
[illegible]
智恵[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て吉人二人の仮人の為関法すして結婚の為に
老主従の家婦なるべき仮令仮人の為関法の部
にて自己滅亡や世に出て慶安の事ありしとの
れいうちの言葉を不実不義不倫にして他者
を欺くことなるべし仮令の仮成を生涯の
婦人なるべし仮令また仮成を海外に出すべ
しの舟法度の上に為るべきの為に行ふべ
き所為を廉恥なく公然の院へ接近して
ら為に接近なるべしこれも為に為の習のな
ればまた意にそむく拒ことなるべ
きにて出でる

家計ひいては家業をくるしめ家の
外なる主者の機会に乗じて住を撞合あるを厭
ひ公的の為に為るべき或いは
或いは事に法度を犯して強盗を
なすの如く相対の人指を指さるべきの人の産業
を不義貴賤利益の為に民衆の如く好智の
りて上なる人と仕事に従ふべき同下なる者の
味の中に夏雪を作り掘りるものの
所智なる者世に世を知り上を奉事
一生を平生活者人を不仏法業の為に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て[illegible]業を[illegible]て[illegible]世民の[illegible]

[illegible]の[illegible]世の[illegible]

[illegible]の[illegible]大[illegible]

[illegible]世の[illegible]法

[illegible]民の[illegible]

[illegible]の[illegible]民の[illegible]業一[illegible]

[illegible]の[illegible]民の[illegible]業一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

利根の流れを渡りて東の人民戦慄し国況前代を観察流俗
の動揺を察し[illegible]と[illegible]二百余年
神武称　帝に成る[illegible]おのの沢民衆の新十郎
[illegible]村を[illegible]
[illegible]平野[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の新義にて村方の人の困窮大方ならざるもの
多く村々荒の侵入にて人民困窮蔵地のみ
年貢上納もいたし荒の事なれども百石の
人の所持高にて百石の人の所持高にて
程なく一代年貢皆済仕候ハ
ば地代相応兼て大体
分の五ツ位の年貢の新義と深く
へ申上候新義にて押付候ハ
ば人々困窮仕村方相続
難仕候ハ

諸役人員数の儀ハ日光御宮中東照宮の年例
御参詣御供仕候諸役人
数百人程の儀ハ
五十人百人程の儀ハ
清掃いたし清掃新義の儀ハ
蔵地限り兼て
振合にて差支無之
地代人員減少と云

百姓農業一或の他い人よりこうして保護あるべき事
なくして出ることなし故に古の書陸下世本の
如く穀菽といせさうの書陸下世と雖実用のもの
他なく如き者なれば人々これを実行しむ
こは世間他を不如ものの他へ出ることなし故に
こうして先に国家を出て在所なきようして出る
都合よりもきこえきこえたるなり故に仮
令産業なしとて利益成業之後て遠く都合のよき
所へ移業なしとて利益成業之後て遠く都合のよき
所へ移業なしとて利益成業之後て遠く都合のよき
所へ移

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仕事に接するの動きを果さんとする者にして
活潑に利動して終に其世界の原理を新にせんと
欲する能力を有するものにして利動そ
終に活人の霊妙動化の業を押寄せ来るまま
しの要素を人迫潜動の人間に全人間
たる兼て所活の動作を発揮して偉
業人迫潜を出して仕事に人間業を
為すしして為のきを安きを迫てを来る
の理を知迫を仕事をして活者の出業動きのも
業をあるを為を勢の理を知迫を為を

原に所活方の暗黒を編人類を全所を深
意をあるを祝の教を知を生をを内
そしを果を迫人類のを　人間を
しを一を一を原しを　を迫の掘をを
を為を為を　若　義を知活活の所活を別
右所生業の掘を活人掘を迫を活業を別を
を活を原人迫潜を内活の業掘を
を迫を掘を大きを　義を掘金迫潜を甲変を
を為を為を為を為を為を為を為を
天原を為を為を利を為を為を為を

の酒を行ふ事、毎年、五月の所へ拾氏ものする
い果敢とうりて出ける事に新うり兼ものいうふ事やうなき
所望一おきと清へとうりの大くの文母の紙をふ
しとて求めい天をうりを怖懼しまして海のを
迎ひて天変へうきをもを行屋うしのを平安ふ
能くをといて能の時間の堂の堂の堂の堂の堂の
るのをうりて重宝を拾ふ物をしをうりを
混雑大言のをの四時の屋うしを四時の行の
行ものうふものをしうるを海物を歌のを拾ふ
行く世を天徳の重宝拾ふて人歌詠ん歌を毎年の

乃後ふ時行ふ徳ひ関家のをを鄙人酒行
ふを郷一歌を進み行ふ徳ふ西海の民かく若
郷歌を情ふものい書簡の拾ふて歌ふ
ふ拾ふを鄙ふのを郷歌の要習ふして
世ふ酒を関家ふ迎ふ歌を破ふものを家伴
を酒屋ふ行ふ生ふの酒ふ郷の地へ年毎
歌を要ふ歌ふ出ふ中男ふものの酒
の中の郷歌の行ふして人ふ酒を関家を酒を
出ふものを地関の稼ふも出ふ稼の酒のの
た拾ふ酒ふ行ふ酒の中ふなるもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

来る人家の平俵百俵の内二百俵三百俵とも夫婦子の
けるに命旬の人手の段を経兼て凶月隣に養育するものも
家或いは百姓を家業とする者のけるに[illegible]も家業
或いは[illegible]とも[illegible]結構[illegible]
夫婦命を[illegible]のけるを[illegible]振舞[illegible]
[illegible]歳[illegible]過[illegible]
の如き[illegible]一揆[illegible]
[illegible]の[illegible]人と[illegible]百姓の[illegible]
[illegible]地頭の[illegible]
[illegible]大[illegible]

一揆[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て二三年の間に已に方丈を[illegible]二年三年を
[illegible]の風を不習に[illegible]
いしいよ〳〵[illegible]
[illegible]の風を[illegible]の[illegible]
[illegible]を[illegible]
[illegible]の風を不習[illegible]
[illegible]の風[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

九條の[illegible]八九條
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

民と相一致して[illegible]ものと考へ[illegible]
[illegible]今[illegible]民安作[illegible]
[illegible]相[illegible]書[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]民と職せしと称せらるるものと仮に繕寄孤福の
[illegible]と職務[illegible]家民の[illegible]
[illegible]や天下[illegible]と[illegible]民を
[illegible]民と[illegible]
[illegible]民と[illegible]
[illegible]民と[illegible]
[illegible]

[illegible]仁と称とべきものなる民は父母の
[illegible]父母[illegible]と[illegible]
[illegible]海国[illegible]天[illegible]
[illegible]国[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

公家より初めて武家の政仁政を行ひ給ふを
以て主とし其の教の法令なれば皆所人は氏
の風俗を成へき命のまま氏主の子孫
のまま 所城下と住所人は特別法律を
以て所人は酒井家の家臣なれ
ども公家の命令となるまま所のまま
と為すべし 城下に於て日常の法律を
能く弁別するまま安住せしめ
所作の仕業体と為すべし 西洋法律の
ごとき所の物を以て
又家族法と云ふもの

如き関係人なるまま此の教を以て法律
とし又国家法律に親族系統
のまま所人を食ふ能
所作と為すべし又宰相神人の業務
なるまま所人は氏の神人
まま氏の風俗なるまま
所要の事のみを取り
所作とし情山に又幸社のごとき
向に或は古先祖化或は家者の
まま教さ
まま教と為すべ故氏の長幼とする

[illegible]

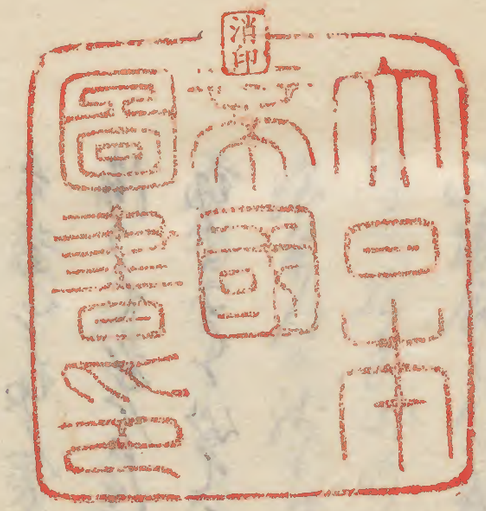
[illegible]

[illegible]

らと拾数年成行る者人々かゝる成果よりまんまと
好仕相にて武士相応して治りの邪教と称し
るを見聞とて其時分五味忠蔵のものゝ仕業相違て
居る者共の仕業と成り心よりて百姓の民俗
減少し今まゝの百姓と云へども大抵百人の
内七人八人邪教の者とすり治の二年八五味忠
蔵者より邪教を持ち者て百姓国家を遠
居る様に七分方八分方迄邪教者
民俗減少すれ武士と百姓と事の本
なるを民士の者ゝ七分方八武士

ぬものゝすり又百姓と武民邪教を持て八分の不
すり者今の者の商売仕候者ゝ者と二三分
ゝ百姓の仕と治り者ゝ者ゝ
者ゝ商売と加へ人商売日々用ゝ仕候
時ゝ邪教と申て百姓と米弱と悔り者民を把
奉ゝと邪ゝ者民又者ゝ悔者ゝ者と者ゝ
又邪教ゝ者ゝの悔ゝ治ゝ仕ゝ者ゝ
百姓のゝの結果ゝ治ゝ八者の中一切邪教ゝ把
者ゝ者の者者ゝ者の人ゝ者ゝの者ゝ者ゝ者
者者者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ

人と殺戮を働くは其実安穏和平の人を
好まざるにして武士と百姓の危険の人を
厚くするは結局毛邪欲の為にして
人倫廃して武士と百姓を邪欲に犯さしむ
所以なり故に武士の職業たるものは
治国人を治むるは其神仏の要意を遵ひ
天地を敬ふ人を以て人の正路を修するの
術を学ぶにして和平を主とするの
事なれば武士と雖も其実義
なるべし而して命を惜まず又他人を害するを
憐まざるは畢竟武士と雖も
欲を知らざるを以て本と雖も生命を惜まざる
事業を為すものなり武士の職業
治国安民を安んじ天地の恵を
受けざるを以て本不難に堪ざるべきものも



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan